

河野研－上野研合同セミナー

2006年11月24日2限・3限、西2-518教室

開始時刻	発表者	研究室	題名（卒業研究）
10:45	飯塚 弘之	河野研	ゾルゲル法による無機シンチレータの作製及び評価
10:56	岩田 皇介	〃	TiO ₂ を用いた光触媒の基礎研究
11:07	稲田 功一郎	上野研	光ヘテロダイン法による 160GHz 領域の周波数スペクトル計測方法の研究
11:18	本間 正徳	〃	PC/QD ゲート評価用超高速ポンププローブ計測法の入力ダイナミックレンジの研究
11:29	岩本 直也	河野研	イオン照射による SiC ダイオードの電荷発生
11:40	熊川 友祐	〃	Ir 触媒を用いた DMFC の性能改善に関する研究
11:51	中邑 裕治	〃	有機色素を用いた多結晶太陽電池の変換効率の改善
13:00	西田 武洋	上野研	DISC 光ゲートの周波数と注入電流スケールリング則の理論解析研究
13:11	奥平 将俊	〃	超高速光信号発生用光多重回路と光増幅器の分散補償方法の研究
13:22	古平 晃洋	河野研	キャパシティブセンシングにおけるベースラインの追従方法の改善、および片手入力インターフェイスの開発
13:33	渡辺 恒文	〃	Si 化合物による超伝導物質の作製及び評価
13:44	矢口 悠介	〃	FTTA システムのための希土類の波長変換効果を利用した、給電用 PD の効率向上の理論解析

発表者への注意事項：

- ・ 各自自身の卒業研究の目標が何で、そのうちの何と何ができたかがわかるように、残された課題が何と何なのかが聴衆に伝わるように、発表スライドを作成すること。スライドの最終ページ（主な結果、結論、今後の課題）も、少なくとも2,3回、大胆に練り直すこと。
- ・ この機会に、異分野（＝他の研究室）の読者の「視点」を意識し、「密度が高く、わかりやすく、美しいグラフやスライドの作り方」を、練習すること。当日は院生・卒研生も、1,2回ずつ質問してください。
- ・ 口頭発表時間は7～8分間。座長は、開始後5分目に1鈴、8分目に2鈴を鳴らすこと。2鈴が鳴ったら直ちに発表終了すること。座長は、質疑応答を含めて10分で3鈴を鳴らす。合計10分を厳守してください。

セミナー世話係： 稲田功一郎、飯塚弘之

（プログラム作成： 稲田、上野、第1.3版）